

学校図書館支援センター通信 171号

令和4年度 市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）

令和4年度 各種調査の結果について

例年、学校にご協力をいただき調査をしている各種調査の結果がまとまりました。また、ネットワーク便の配送量についても集計結果をお知らせいたします。

ご一読いただき、各学校にて新年度の学校図書館活用の推進等にご活用ください。

項目	数値	前年度との差
学校図書館活用授業時間数	41,975 時間	▼749 時間
学校図書館活用単元数	8,944 単元	△1,619 単元
児童生徒の年間図書貸出冊数	1,258,295 冊	▼11,157 冊
ネットワーク便貸借数（70回）	42,495 冊	△6,227 冊

【学校図書館活用授業時間数の内訳】

教科・領域等	活用時間数（時間）	前年度との差（時間）
国語	28,929	△1,115
社会	2,285	▼449
算数・数学	72	▼17
理科・生活	2,601	▼181
音楽	58	▼54
図工・美術	1,241	▼554
技術・家庭	532	△145
保健体育	52	▼58
道徳	289	△42
外国語・英語	345	▼115
総合的な学習の時間	4,991	▼771
特別活動	135	▼47
その他	445	△195
合計	41,975	▼749

【学校図書館活用単元数の内訳】

教科・領域等	単元数	前年度との差
国語	6,881	△1,982
社会	356	▼122
算数・数学	10	▼18
理科・生活	485	▼46
音楽	7	▼19
図工・美術	158	△22
技術・家庭	40	±0
保健体育	5	±0
道徳	96	△4
外国語・英語	44	▼65
総合的な学習の時間	658	▼209
特別活動	34	▼36
その他	170	△102
合計	8,944	△1,595

※「学校図書館支援センター通信163号」掲載の数値から追加修正した数値と比較しています。

「学校図書館活用授業時間数の内訳」を見ると、昨年度より時間数が減った教科・領域等は10項目、増えた教科・領域等は4項目と減少しています。「学校図書館活用単元数の内訳」では、多くの教科・領域では減少しているものの、国語の活用単元数が大幅に増加しています。

4年目教員対象の授業力アップ研修の事後アンケートにおいて、「学校図書館活用の仕方がわからない」と回答している研修生が多数いることから、若年層が増えた学校現場では、学校図書館を活用しようという意図は感じられますが、国語以外ではどう活用しているのかわからないということが推察されます。

また、調べ学習について、調べる方法が図書資料から学習用端末に変わってきていることも学校図書館の活用時間数の減少につながっていると考えられます。図書と学習用端末のメリットを十分理解し、両方を併用していくことが、子供たちの深い学びにもつながっていきますので、今後も活用をお願いします。

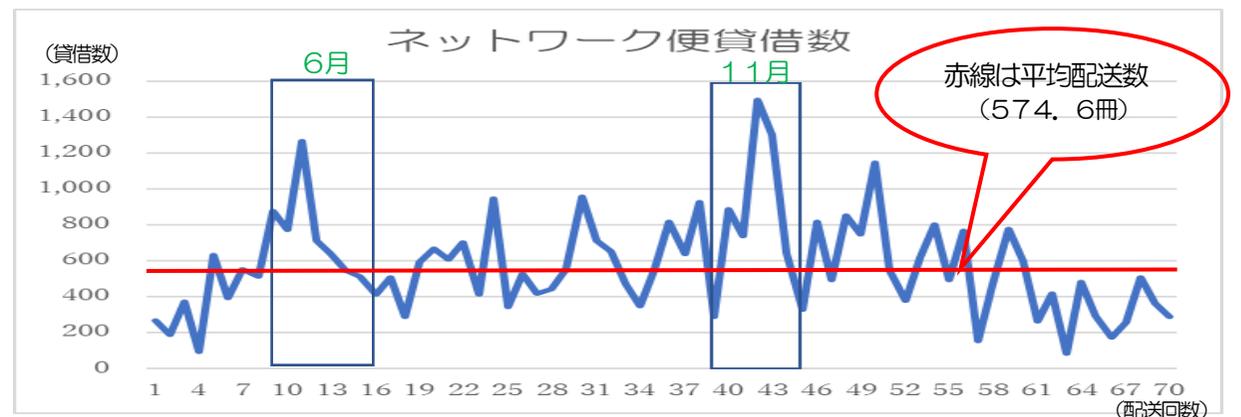
【児童生徒の年間図書貸出数の内訳】

分類	冊数（冊）	前年度との差（冊）
0	10,894	△630
1	13,317	▼10
2	46,974	▼168
3	43,499	△3,606
4	143,755	▼5,324
5	69,265	▼3,410
6	28,856	△180
7	66,843	▼2,548
8	15,419	▼400
9	817,616	▼5,229
その他	1,857	△1,516
合計	1,258,295	▼11,157

「児童生徒の貸出数」については、減少した項目が多く見られました。しかし、3類（社会科学）については、貸出数が伸びています。

「ネットワーク便貸借数」では、新型コロナウイルスの影響もあって、貸借数も減少していましたが、昨年度より3,000冊以上の増加が見られました。次年度以降もネットワーク便を活用いただきたいと思います。

「学校図書館支援センター通信169号」でも掲載しましたが、6月、11月が貸借数の多い月となっています。学校では、校内授業研究会や公開研究会が多く行われる時期と重なっています。この時期に行われる単元を入れ替えることで、図書資料も確保しやすくなります。



図書館の窓から ～ひろげよう！図書館の輪・リレー執筆～

今年度は図書委員会主体のイベントとして、6月の読書週間、11月の読書月間を行いました。図書委員会では、普段図書館をあまり利用しない子どもに親んでもらえるよう、目標を立てて企画しました。図書委員おすすめの本を階段の踊り場や新校舎に掲示するなど、図書館まで遠い学級へも積極的にアピールしました。また、各学級への紙芝居や絵本の読み聞かせも行いました。委員会活動や休み時間に一生懸命練習し、本番はとても上手に読み聞かせを行っていました。

図書館内だけではなく、コロナ禍にできなかった図書館外での活動も少しずつ実施できるようになりました。次年度もより本に親しみやすい環境作りを、子供たちとともにしていきたいと思っています。



図書委員の読み聞かせを真剣に聞き入る子供たち

（市川市立妙典小学校 学校司書 梅木 彩乃）

『学校図書館支援センター通信』は、市川市教育センターホームページでもご覧いただけます。
市川市学校図書館支援センター（市川市教育センター）
〒272-0015 千葉県市川市鬼高1-1-4
TEL 047-320-3335 FAX 047-320-3352
<http://www.ichikawa-school.ed.jp/index.html>

